

令和5年度 第4回会津美里町高田地域まちなか賑わい創出協議会

日 時 令和5年12月7日 木曜日 18:30 開始

場 所 会津美里町役場 2階 大会議室

司会: 産業振興課長補佐

次 第

1 開会 副委員長

2 委員長あいさつ

3 前回までの振り返りと本日流れ 事務局

- ・前回までの流れと会津西陵高校へのアンケート結果

- ・本日の目標 アンケートに掲載する方針を決定

進行役は、事務局職員

4 協議事項

- ・先進事例の紹介 国見町「アカリ」、大田原市「えんがお」

- ・個人で、にぎわいづくりのプロトタイプを1つ考え出す

①高田地域中心市街地エリア ②旧高田公民館跡地

- ・事務局が用意した、「たたき台」をたたく。

- ・委員から提出された、「たたき台」をたたく。

その中から3つに絞っていく

5 委員長のまとめ

6 その他 事務局

7 閉会 副委員長

会津美里町 高田地域まちなか賑わい創出協議会委員

No.	役職	氏名	フリガナ	種別	肩書	役職
1				商工会		
2				学識経験者		
3				自治区長		
4				金融		
5				商工会推薦		
6				観光協会推薦		
7				地域おこし協力隊		
8				地域づくり		
9				地域づくり		
10				商店街		
11				商店街		
12				飲食		
13				商店街		
14				商店街		
15				高田中PTA副会長		
16				農業		
17				福祉		
18				農業		

会津美里町地域振興アドバイザー

			アドバイザー		
--	--	--	--------	--	--

事務局

1			産業振興課長
2			産業振興課長補佐
3			産業振興課商工観光係長
4			産業振興課商工観光係
5			産業振興課商工観光係
6			会津美里町商工会

0242-55-1191

デザイン思考

で、この「高田地域のまちなか賑わい」と

「旧高田公民館跡地」の今後の活用を考える。

デザイン思考とは？

物事、課題に対して、ユーザーの視点に立ち、潜在的なニーズ、需要を発見し、解決策を探る思考法。

➔ 課題に対し、さまざまな形で関わる当事者の顕在、潜在のどちらの要望、ニーズ、需要を全てとは言わないまでも、反映させることができる思考法、手法。

実行の手順、プロセス

			我々の協議会
今はここ、4・5の繰返	1 共感	ユーザーの潜在的需要を明らかにするには、置かれている環境や状況を観察すること、「共感」から始めます。	我々は、高田町民の「プロ」。この協議会以前より、それぞれの立場で問題意識をもって生きてきた。それを今、発揮する時。 第1回、第2回、第3回を通して、このエリアについて、各自の視点で共感し、問題の本質を見定め、解決するためのアイデア（キーワード）を出してきた。しかし、現状では混沌としていて、どうまとめていいか試案していた。
	2 定義	ユーザーがそれを問題だとしている理由と、なぜその問題が生じているかを突き詰め、問題の本質を見定めます。	
	3 概念化（アイデア発想）	問題の本質を解決するためのアイデアを出す工程。可能な限り多くのアイデアを出す。否定しない。どこに可能性はあるかわからない。	
	4 試作	出たアイデアを絞り込み、「可視化、プロト化」し、わかりやすく具現化していく。完成度は度外視。	可視化、プロト化、「わかりやすく見える化」をしてこなかった。たたき台を用意した。これは、あくまでたたき台で、まったく決定ではない。
	5 テスト	可視化したプロトを、ユーザーにテストしてもらい、フィードバックを得る。	我々の課題は、モノやシステムではないので、実際に試すことはできない。しかし、できたプロトタイプに対して「こういう時はどうする？」「こうした方がいい！」という磨き上げは可能。「4」「5」を繰り返して、近づけていく。

whenとwhereは、決まっている。「いつ?」は、近い将来、「どこ?」は高田地域のこのエリア

誰が	誰を (対象)	何のために	何をして	どうしていく

パターン 1

パターン 2

パターン 3

主に誰を狙う (対象、ターゲット)

学生 (第 3 回協議会 A班)

キーワード

全世代が求めているもの

居場所

居場所 コミュニティー フリースペース カフェ 飲食店 わが事に ウォーカブル
健康 ガーデニング クラフト手芸工芸 世代交流 駐車場 全世代活躍 ウォーキング
全天候型 マルシェ イベント (コアなものデコトラとか) 思い出の味、におい、体験
サードプレイス 職業体験 チャレンジショップ こども食堂、地域食堂 稼働率 気軽さ
バーチャル商店街 特産品 公園 (全天候型) 歴史文化 天海大僧正 観光視点
トイレ (外向き) お祭り 駄菓子屋 スイーツ 名物 居酒屋 人材育成 パーソナルスペース
屋内遊び場 道の駅 直売所 コワーキングスペース レンタルオフィス メタバース
ファーマーズマーケット 集会所 子供たちの放課後スペース ちょっとした日用品販売
継続率 主体性

旧高田公民館跡地

平成通り

貸家 (セブン)

空地

空き家

空き家

ポケットパーク

空地

空き家 (小沢酒屋)

空き家 (マルタ)

空地 (旧大東跡地)

町営上町駐車場

県道会津高田柳津線 (赤留街道7)

門前横町通り

高田インフォ

旧高田公民館跡地の利活用方針

誰が	誰を（対象）	何のために	何をして	どうしていく

パターン 1

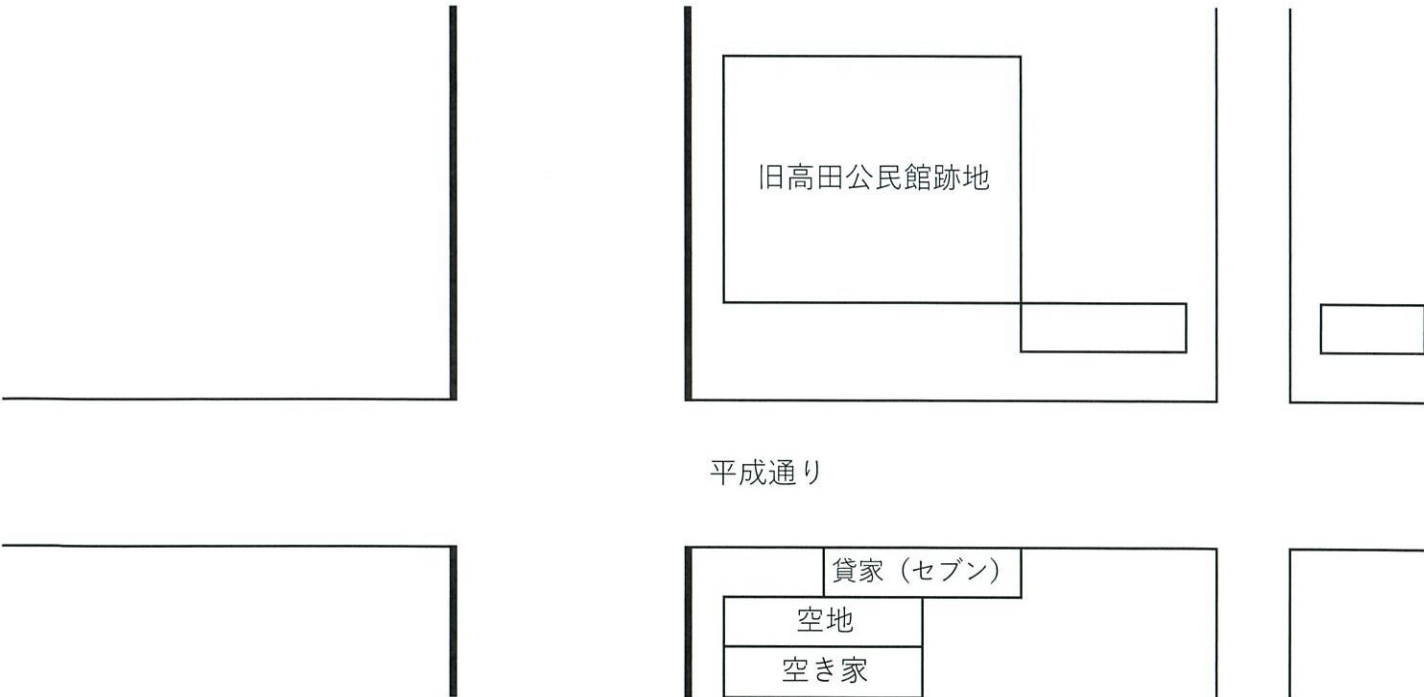
パターン 2

パターン 3

主に誰を狙う（対象、ターゲット）

学生（第 3 回協議会 A 班）

キーワード	全世代が求めているもの		居場所
居場所	コミュニティ	フリースペース	カフェ 飲食店 わが事に ウォーカブル
健康	ガーデニング	クラフト手芸工芸	世代交流 駐車場 全世代活躍 ウォーキング
全天候型	マルシェ	イベント（コアなものデコトラとか）	
サードプレイス	職業体験	チャレンジショップ	こども食堂、地域食堂 稼働率 気軽さ
バーチャル商店街	特産品	公園（全天候型）	歴史文化 天海大僧正 観光視点
トイレ（外向き）	お祭り	駄菓子屋 スイーツ	名物 居酒屋 人材育成 パーソナルスペース
屋内遊び場	道の駅	直売所	コワーキングスペース レンタルオフィス メタバース
ファーマーズマーケット		集会所	子供たちの放課後スペース ちょっとした日用品販売



whenとwhereは、決まっている。「いつ?」は、近い将来、「どこ?」は高田地域のこのエリア

誰が	誰を（対象）	何のために	何をして	どうしていく
まだ、わからないけど、民間もしくは三セク?が望ましい	昼は、高齢者、午後からは、小中高生、夜は大人	人のために自分が役に立てることを知るために、	フリースペース、チャレンジショップのカフェ、子ども食堂、地域食堂、夜は居酒屋をつくって（経営者、時間割）	年長者が年少者に勉強などを教えたり、高校生が青春を謳歌したり、高齢者も趣味を楽しみ、お腹も舌も脳も満足させる「みんなの居場所」にしていく。
民間（ただし、いろんな補助あり）	小中高生の	サードプレイス（第三の居場所）をつくるために、	勉強はもちろん、インドア、アウトドア、スポーツなどの講師を住民から募り、	人材教育の場としていく。
まだ、わからないけど、民間もしくは三セク?が望ましい	幼、小中高生（フリースクールも含む）	会津美里町で育ってよかったと思えるように	勉強やスポーツ、芸術文化、ゲーム、趣味娯楽などジャンルを問わず、道を追及できる環境を用意、子ども食堂と保護者向けの直売所、テイクアウト、待合のカフェ、駐車場も完備	人材育成に特化した地域にしていく。
民間（ただし、いろんな補助あり）	商店街の事業者を	町民のお店として、AMAZOM化（在庫の可視化）、じいばあいつ化（臨時配達員）、地域経済を回すために	空き家にチャレンジショップカフェや飲食なども揃え、すべての商品をオンラインで可視化、配達も自前化、細かい配達先時間まで要望に答える	買う人、売る人、配達する人、全員に利益と笑顔を回していく。ついでに、独居老人の健康確認、道路の穴も確認。

パターン1核
「フリースペースとなるチャレンジショップ」コピー

「タイムシェアによる全世代わが事化による居心地のいいエリア」

パターン2
核「
「人が人を育む、みんなのサードプレスをこのエリアに！」

パターン3
「師匠は、町民。スポーツ、文化、芸術、ゲーム、趣味を満喫し、その中から人を育てる人生道場のエリアに」

パターン4
「商店街をアマゾン化、買う人、売る人、配達する人すべてがウィンウィンのエリア」

誰が	誰を（対象）	何のために	何をして	どうしていく
まだ、わからないけど、民間もしくは三セク？が望ましい	昼は、高齢者、午後からは、小中高生、夜は大人	人のために自分が役に立てることを知るために、そして儲けるために	外は全天候型のマルシェなど何でもできるフリースペースと大型バスも止まれる駐車場、トイレ、高齢者運動施設、祭りの練習場、天海公園。内は、カフェ、会合スペース、レンタルオフィス、有事には避難所	観光を含めた、住民よりの拠点としていく。
町または、民間団体が	主に観光客の	誘客を図り、地場産品を販売し、利益を得るために	大型バス駐車場、トイレ、カフェや直売所、天海大僧正などの歴史文化を取り込んだ展示スペースを用意、	観光、物産の拠点としていく。
民間団体が、	すべての町民老若男女	いろんな天秤に掛けても残る、ここに住んでいる理由となる満足度と、心と体の健康増進のために	趣味とスポーツ全振りした環境と、チャレンジショップ、飲食、カフェなどを用意、	ウォーキングなど手軽なスポーツやクラフトアートなど、「趣味こそ生きがい」を前面に押し出していく。
官設民営	町民と観光客、来る人すべて	ここにこなければ、味わえない、体験できないものを用意し、利益をあげ、自己実現を図るため	段がまえの複数テナントのチャレンジショップを用意し、	地場産品や特産品を販売していく。

パターン1
核「全天候型フリースペース」
「雨にも負けず、誰もが集い、誰かの役に立つ天海さん広場（テンヒロ）」

パターン2
核「観光物産の拠点」「大型バス大歓迎、会津美里町の物産館」

パターン3 核
「軽運動施設と集会所機能」「趣味とスポーツに全振り、みんながイキイキ健康スペース」

パターン4
核「チャレンジショップ」
「ここでしか味わえない味がたくさん集まっています」

令和5年度 第2回 高田地域の中心市街地に関する 町民アンケート調査票

※本調査票に記入し、本調査票を返信してください。

(案)

我々がやってきたことの信を問うアンケート



○町民の皆さまには、日頃より町商工及び観光振興施策に対しご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

現在、町では、高田地域の中心市街地について、新たな人の流れをつくり出し、「にぎわい」につなげる取り組みの準備を進めております。

つきましては、町民の皆さまのご意見等を把握しながら検討を進めていきたいと考えておりますので、お忙しいこととは存じますが、本アンケート調査にご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

アンケート集計結果につきましては、後日町のホームページで公開いたします。

ご記入にあたって

◆この調査は無記名でご回答いただき、調査の結果はすべて統計的に処理し、他の目的には一切使用いたしません。ありのままのご意見をお願いいたします。

◆お答えは、あてはまる答えの番号を○で囲んでください。「その他」にあてはまる場合は、() に具体的に、その内容をご記入ください。

【本調査についてのお問い合わせ先】

会津美里町役場 産業振興課 商工観光係 電話：0242-55-1191

アンケート提出締め切り日

令和6年1月12日

金曜日

◆お手数ですが、本調査票を同封の返信用封筒に入れてご返送ください。

今、なぜ、「にぎわい」なのか？

2023.7.1現在の会津美里町の推計人口は、17,817人。

約40年後の2065年の推計人口は、約8,000人。

現在の人口の約1/2。友人や知人、隣人の2人に1人は、いなくなる計算。

日本全体でみると、現在の人口は、約1億2,456人。

2070年には、8,700万人に減少。

地方ほど人口減少率は高くなる傾向があります。

そんな状況の中で、この高田地域がどのような未来をめざすのか？

数年後、数十年後、

あなたはどのような「街」になっていてほしいと思いますか？

そこにある「にぎわい」は、どのような「にぎわい」ですか？

いったん立ち止まって、みんなで考えてみましょう。

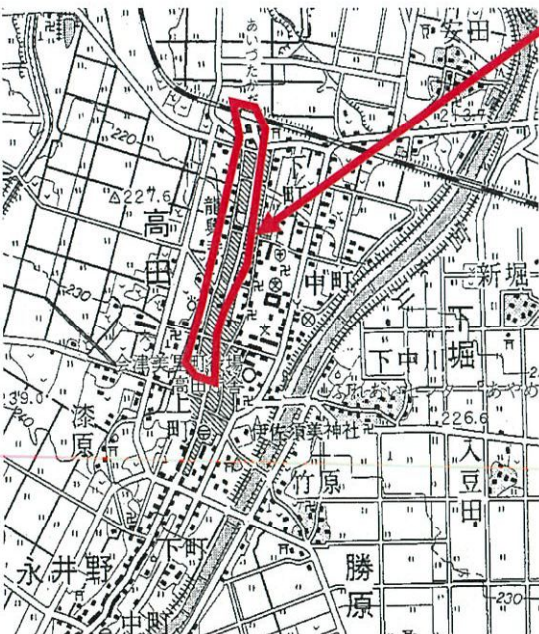
みなさんのご意見をお聞かせください。

アンケートの 目的

高田地域の中心市街地について、
①今の状態をどう思っているか？
②将来、どのようになしてほしいか？
この2点について、住民から広く聞き取ることを目的とします。

アンケートを記入する前に

アンケートを記入する前に、高田地域の中心市街地の範囲と、「にぎわい」について、ご確認ください。



高田地域の中心市街地とは？

JR高田駅から門前横町通りまでの約1.5km
西裏通りと東裏通りに囲まれた地域であり、
面積、約23万㎡、23ha
東京ドーム（4.7ha）約5個分

「にぎわい」とは？

目的をもって、一定の場所に
「人が集まること」を言います。「人流」。
物を売り買いすること、食べ物を食べる事、
音楽ライブ、お祭り、講習会、
趣味の集まり、マルシェ、観光など
一時的な「にぎわい」と
継続的な「にぎわい」がありますが、
今回はどちらにも限定はしないものとします。

アンケートは、8問、所要時間は約10分です。

I あなた自身のことについてお伺いします。

問1 あなたの性別について

- | | |
|-------|----------|
| 1. 男性 | 3. その他 |
| 2. 女性 | 4. 回答しない |

問2 あなたのお住まいについて

- | | |
|-------------------------------|------------------|
| 1. 高田地区（1区から15区） | 3. 高田地域以外（本郷、新鶴） |
| 2. 高田地区以外（永井野、旭、藤川、赤沢、尾岐、東尾岐） | |

問3 あなたの年齢について

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1. 15～19歳 | 4. 40～49歳 | 7. 70歳以上 |
| 2. 20～29歳 | 5. 50～59歳 | |
| 3. 30～39歳 | 6. 60～69歳 | |

II 高田地域の中心市街地について

問4 あなたは、現在の高田地域の中心市街地にとって、
「にぎわい」は、必要だと思いますか？

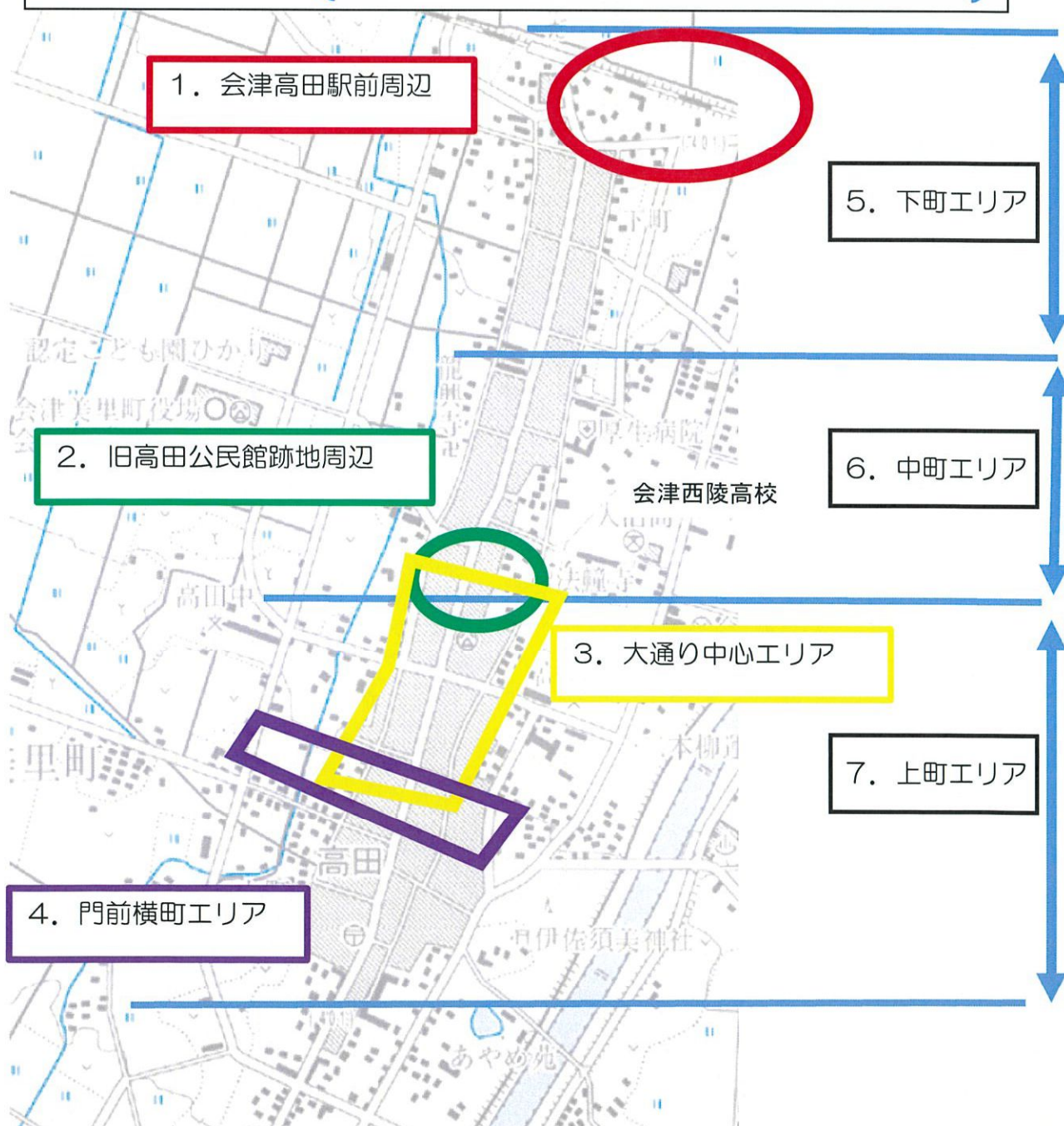
- | |
|----------------|
| 1. にぎわいは必要 |
| 2. にぎわいは必要ではない |
| 3. どちらともいえない |

問5 高田地域の中心市街地に、にぎわいを創り出すとして、あなたは何を期待しますか？何があったら、行きたいと思いますか？

- | |
|----------------------------------|
| 1. 日用品、衣類、靴などの生活必需品や学校用品の販売 |
| 2. そこでしか味わうことができないグルメ、スイーツなどの飲食店 |
| 3. ここでしか経験できない体験や学びができるスペース |
| 4. 定期的なマルシェやイベント |
| 5. 平穏な住宅地 |
| 6. 子どもから高齢者まで世代を超えて交流ができるスペース |
| 7. 趣味や娯楽を、仲間と一緒に楽しむことができる空間 |
| 8. その他自由意見 |

問6 あなたは、高田地域の中心市街地について、特にどのポイントに絞ってチカラをいれるほうがいいと思いますか？

1. 会津高田駅前周辺
2. 旧高田公民館跡地周辺
3. 大通り中心エリア
4. 伊佐須美神社門前横町通り周辺
5. 下町エリア（上州屋豆腐店あたりから会津高田駅前）
6. 中町エリア（太郎庵、旧高田公民館跡地から上州屋豆腐店あたり）
7. 上町エリア（太郎庵、旧高田公民館跡地あたりから南側）
8. その他自由意見



高田地域まちなか賑わい協議会は、活発な話し合いの結果、このエリアを活性化させるであろう方針、コンセプトを考えました。
この方針、コンセプトであれば、新たにぎわいが生まれ、人の流れが創り出すことができる可能性があると思われます。

みなさんのご意見をお聞かせください。

問7 高田地域の中心市街地に、にぎわいや人の流れを創り出すために、あなたがふさわしいと思う方針、コンセプトは次のうちどれですか？
ひとつを選んでください。

1. コピー「

ここを決める

2. コピー「

ここを決める

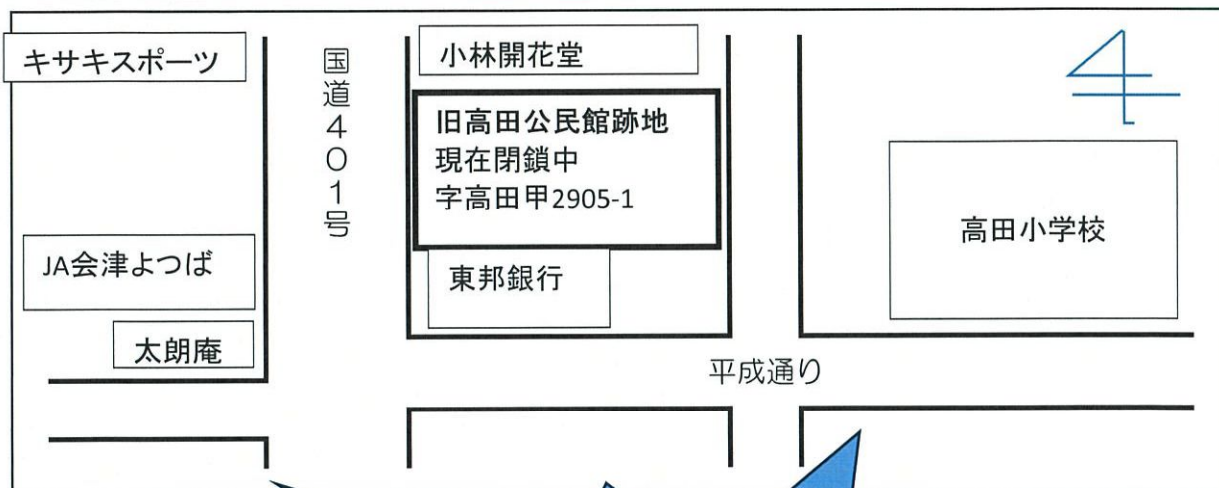
3. コピー「

ここを決める

4. その他自由意見

問8 旧高田公民館跡地は、にぎわいや人の流れを創り出すために、中心的な役割を果たすことが期待されています。（ひとつ選ぶ）

将来的な使い方として、あなたがふさわしいと思う方針、コンセプトは次のうちどれですか？ひとつを選んでください。



1. コピー「

ここを決める

2. コピー「

ここを決める

3. コピー「

ここを決める

4. その他自由意見

問9 あなたが、会津美里町に期待することは何ですか？
ふたつ選んでください。

1. 子育て支援が充実し、安心して結婚し、子育てができる町
2. 高齢者にやさしく、生活しやすい居住環境の町
3. 衛星都市として、ベッドタウンとして快適な居住環境
4. スポーツや文化活動が盛んで、子供や人材教育に注力し、
世界に人材を供給する町
5. 訪れる観光客が満足して、地元経済も潤う町
6. 地域コミュニティが活発で、世代交流が盛んな町
7. 孫、子、親、三世代で同居し、家族とふるさとを大切にする町
8. 先祖代々の農地をたしかに守り、農業が活発で、地産地消を奨励する町
9. 大企業、優良企業を誘致した、企業城下町
10. みんなが心に余裕を持ち、趣味や余暇を積極的に楽しむ町
11. 住民ひとりひとりがまちづくりに参加し、地域全体を盛り上げる町
12. その他

ご意見やご要望等の自由意見欄

（高田地域のにぎわい創出に関するご意見やご要望等がありましたら、どんなことでも構いませんのでご意見をお聞かせください。）

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



ご協力、大変ありがとうございました。
アンケートの結果につきましては、集計が
でき次第ホームページ等で公表する予定です。